

# **令和 5 年度 男女共同参画に関する市民アンケート調査結果**

**令和 6 年 5 月**

**木更津市地域共生推進課**

## アンケートの概要

木更津市では、性別等に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる共生社会の実現を目指してさまざまな取組を進めているところです。

つきましては、第5次木更津市男女共同参画計画（令和4～8年度）に基づき、市民の皆様の男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の施策に反映させることを目的にオンラインによるアンケート調査を実施しました。

なお、無記名回答かつ統計的な処理を行うため個人は特定されず、調査結果は目的以外に使用しません。

### 1 名称

男女共同参画に関する市民アンケート調査

### 2 対象

市内在住の18歳から75歳までの方から無作為抽出した1,700名

### 3 実施期間

2024（令和6）年2月1日（木曜日）～2月29日（木曜日）

### 4 アンケート方式

Logo フォームを利用したWEB アンケート

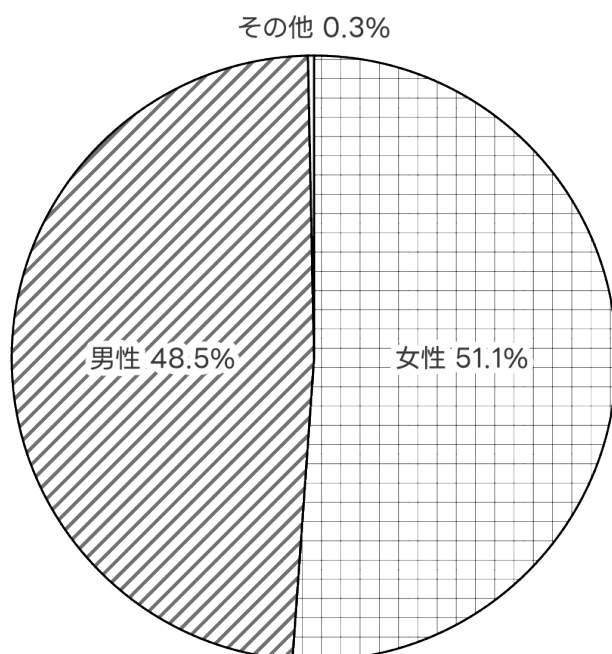
### 5 有効回答数

307（18.1%）

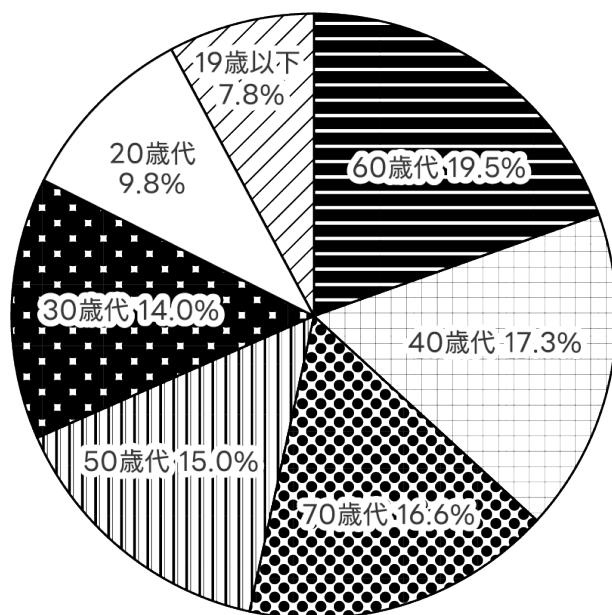
<https://www.city.kisarazu.lg.jp/soshiki/shimin/chiikikyoseisuishin/1/2973.html>

◆あなた自身のことについて

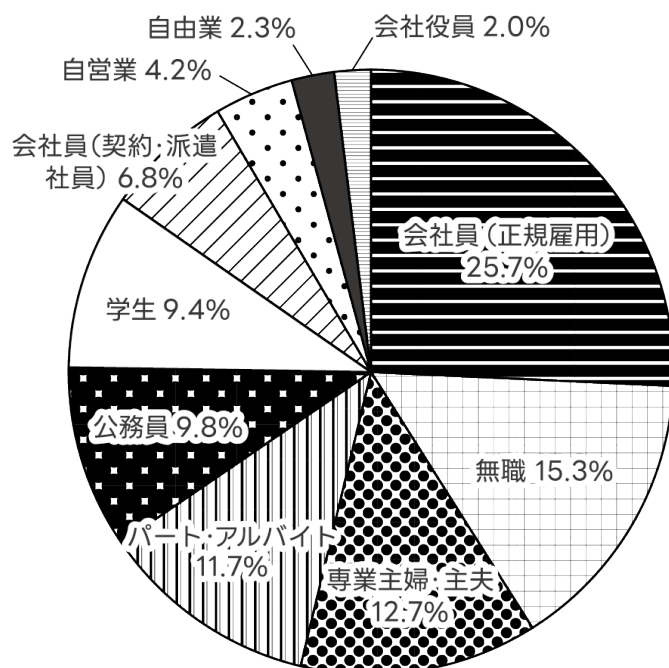
問1 性別を教えてください。(n=307)



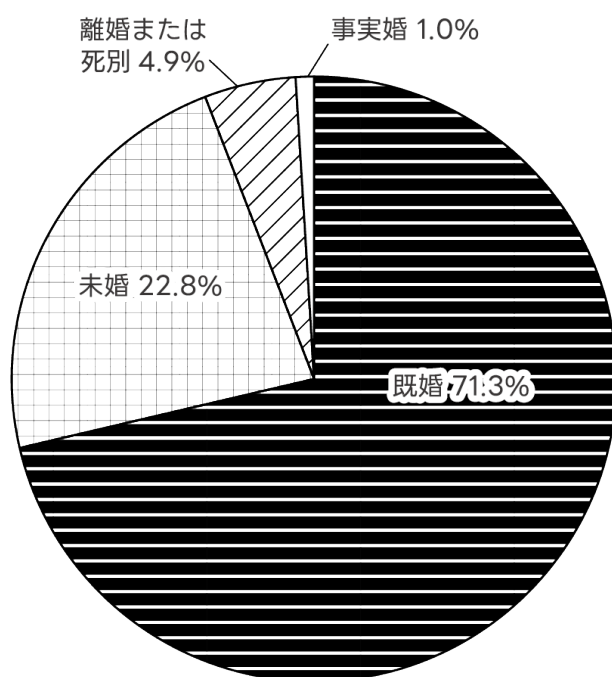
問2 年齢を教えてください。(n=307)



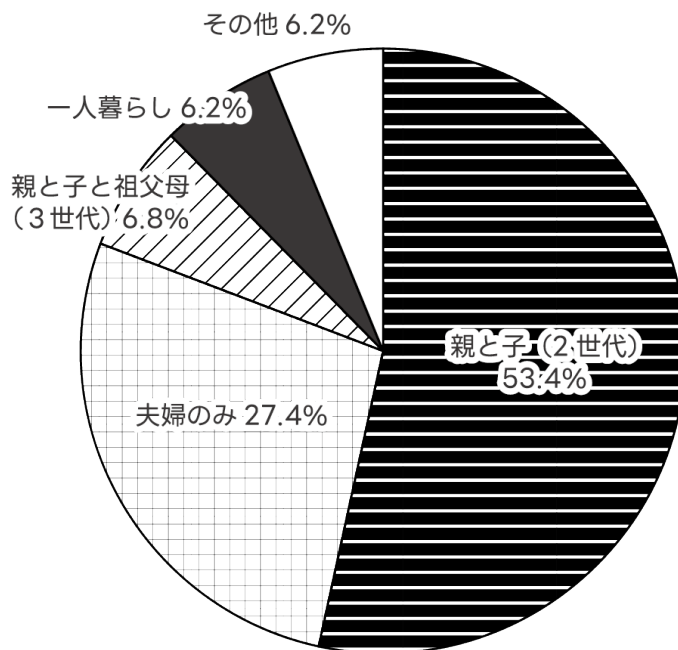
**問3 職業について教えてください。(n=307)**  
 ※出産休暇、育児休業中の方は働いているものとみなします。



**問4 結婚はしていますか。(n=307)**



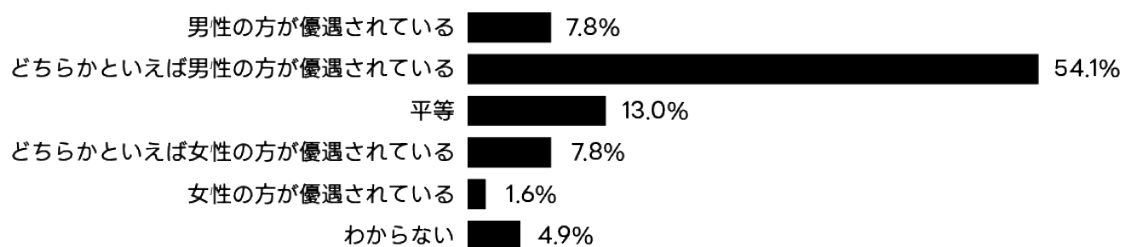
問5 家族構成を教えてください。(n=307)



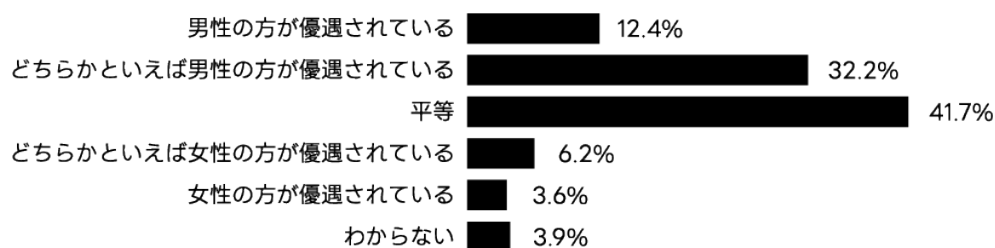
◆男女平等に関する意識について

問6 現在、①～⑧の分野で男女平等になっていると思いますか。

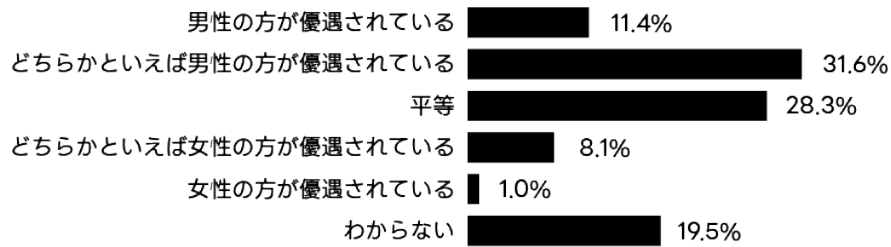
①社会全体で (n=307)



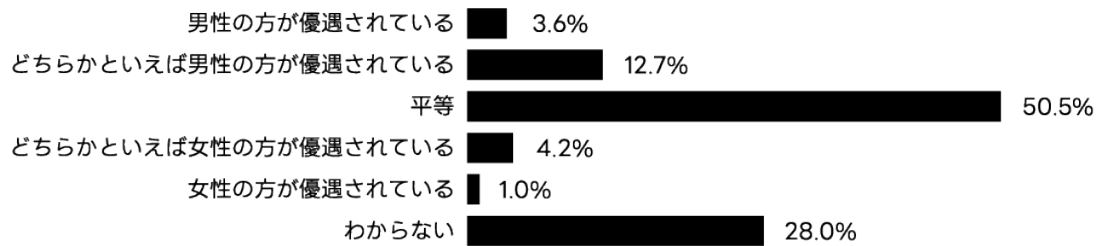
②家庭内で (n=307)



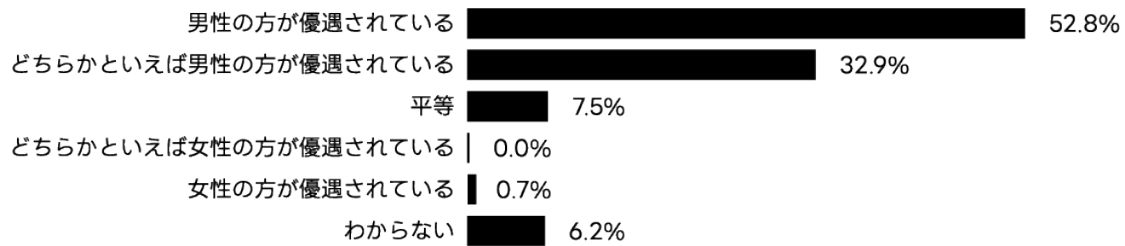
### ③職場内で (n=307)



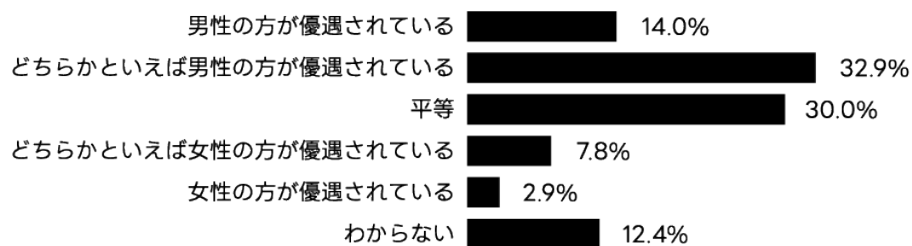
### ④学校教育の場で (n=307)



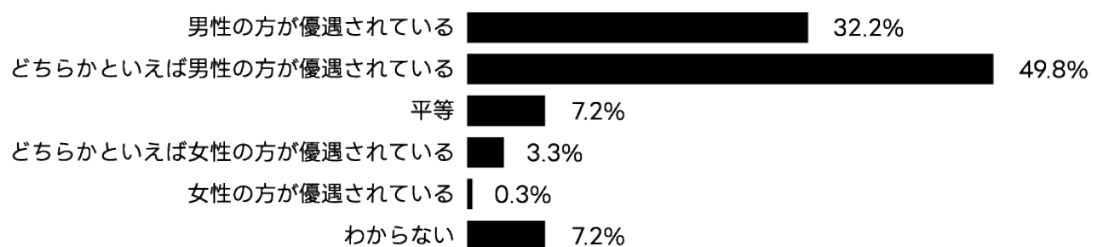
### ⑤政治の場で (n=307)



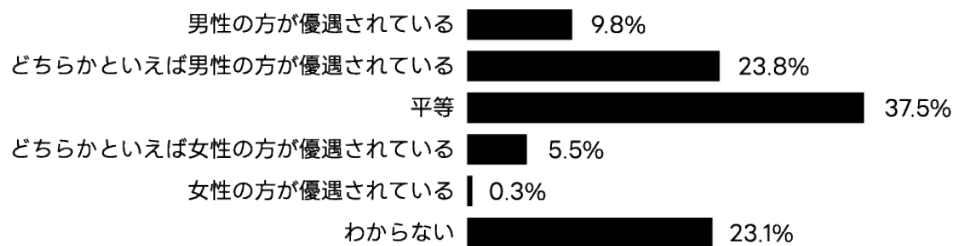
### ⑥法律や制度の上で (n=307)



### ⑦社会通念・慣習で (風潮・しきたり等) (n=307)



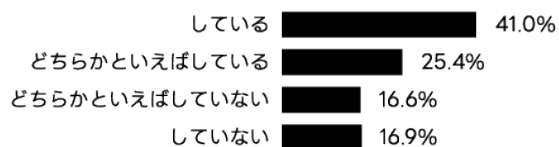
## ⑧地域活動の場で（自治会・PTA・ボランティア等）（n=307）



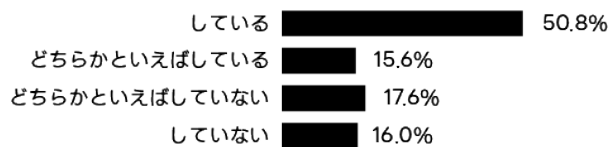
## ◆家庭における男女共同参画について

### 問7 あなたは家事をどの程度していますか。

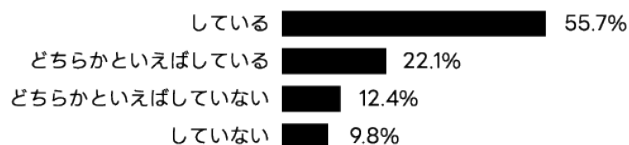
#### ①日常の家計管理（n=307）



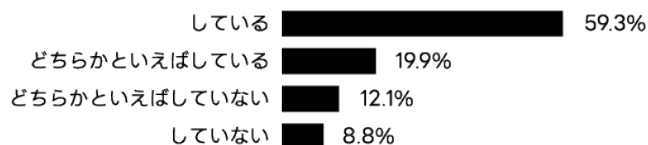
#### ②食事のしたく（n=307）



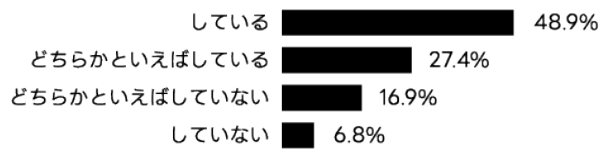
#### ③食事の後片付け（n=307）



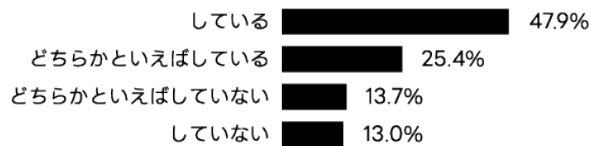
#### ④食料品や日用品の買い物（n=307）



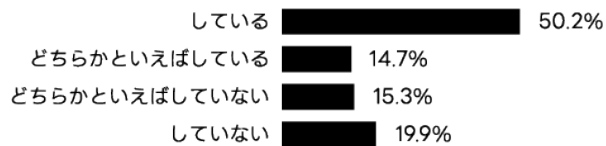
#### ⑤掃除 (n=307)



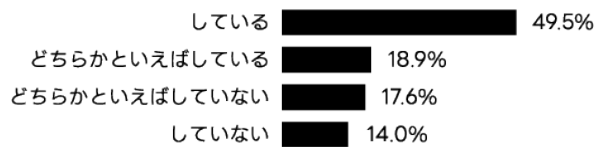
#### ⑥風呂・トイレ掃除 (n=307)



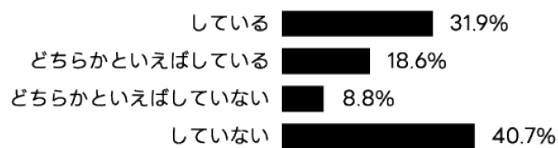
#### ⑦洗濯 (n=307)



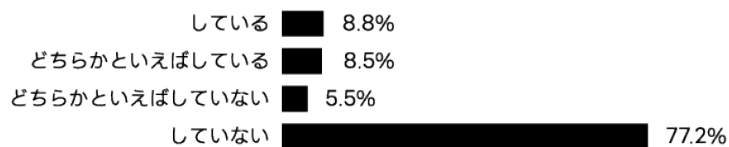
#### ⑧ごみ出し (n=307)



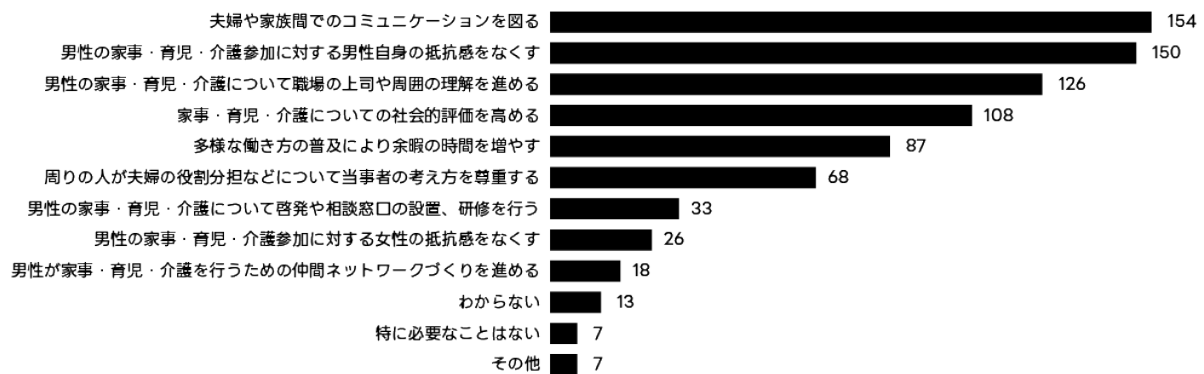
#### ⑨子どもや孫の世話 (n=307)



#### ⑩介護 (n=307)



## 問8 男性が家事・育児・介護に積極的に参加するには何が必要だと思いますか。(n=797)



### 《その他の回答》

- ☐ 「男性が」と聞いている時点で、女性主体でやっているという前提になっているが、それが偏見だと思います。
- ☐ 必要に迫られる状況になればやるしかなくなる。誰かがやってくれる、他にやってくれる人がいるとなかなかやらない。自分一人しかいなければやるしかない。
- ☐ 自分の事でさえ何も出来ない人が家に居られても余計な仕事が増えるだけ
- ☐ やるという意味
- ☐ 育休制度と賃金の問題が解決しなければならない

## ◆職場における男女共同参画について

## 問9 男女がともに活躍できる職場にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(n=747)

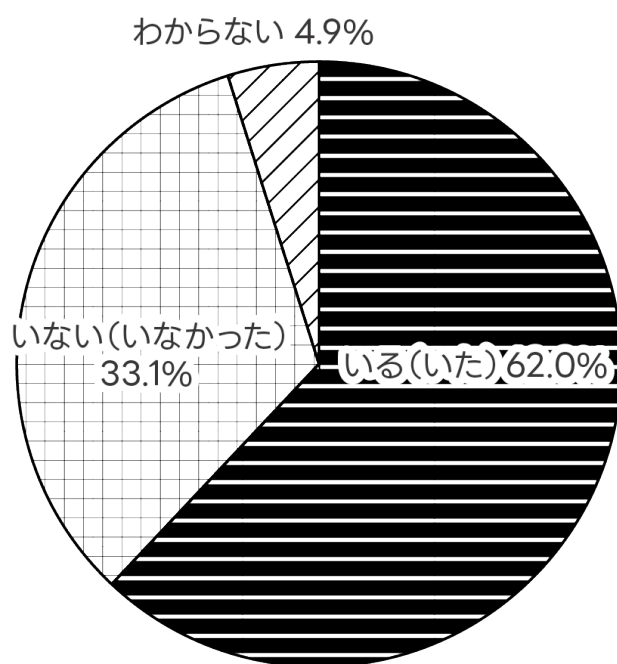


### 《その他の回答》

- ☐ 無職
- ☐ 私たちの仕事は女性では無理です
- ☐ ケースバイケースで違うのでその当事者間で決めれば良い
- ☐ 男性の残業をなくし、定時に帰ることができること
- ☐ 男性も最低限自分の事が出来るようになればいいのでは

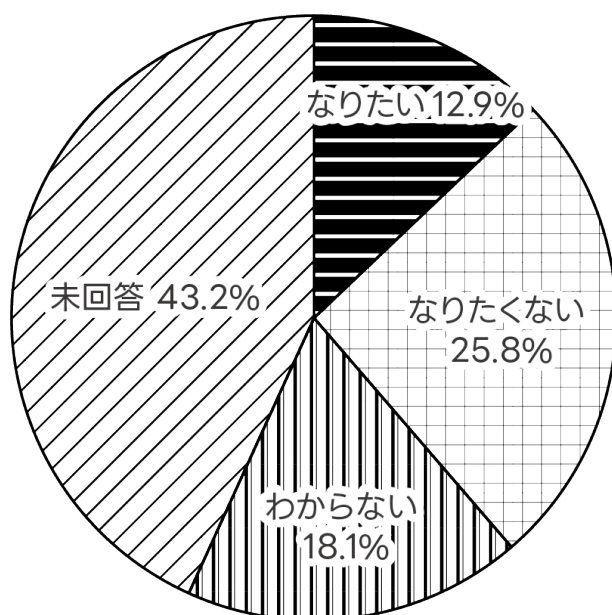
問10【働いた経験のある方にお聞きします】

職場に女性の管理職の方がいましたか。(n=287)



問11【働いた経験のある女性にお聞きします】

管理職になることについて、どう思いますか。(n=287)



**問12【問11で「なりたくない」を選んだ方にお聞きします】**

**それは、どのような理由からですか。（n=74）**



《その他の回答》

☐仕事は一切出来ず部下に全て押し付けてばかりで自分は男遊び。ウンザリしました。責任感全く無し

☐食生活改善推進員

**◆地域社会における男女共同参画について**

**問13 地域活動・社会活動の参加について、あなたが参加しているものを教えてください。（n=362）**



《その他の回答》

☐スポーツ団体

☐ボランティア

☐過去に1, 2, 4, 6に参加し、職場で社会活動をしていた。

☐公民館活動

☐寺役員

☐食生活改善推進員

☐勇気が出ない

☐幼稚園卒園記念品係

**問14【問13で「参加していない」を選んだ方にお聞きします】**

**地域活動・社会活動へ参加していない理由は何ですか。（n=241）**



《その他の回答》

□2～6については地域で取り組んでいるか知らない、1についてはまだ子どもが未就学だから。

□72さいですので

□すすんで拒否しているわけではないが機会がない。すすんでやろうとも思っていない。

□そういう機会がない

□そのような活動がない

□引っ越してきたばかりでよくわかっていないため

□学業で忙しい

□学業優先なので時間がない

□学生が参加するものはあまりない

□学生で地域との繋がりが深くないから。

□学生なので勉強や学校の事が忙しいので

□学生のため

□活動があるか知らない

□機会が無い

□健康面の問題

□現在体調が良くない為

□参加するきっかけ、興味が湧くきっかけがない。

□自治会の班長の順番が終わったから

□紹介が少ない、参加方法がわからない

□上記活動への参加方法を知らない

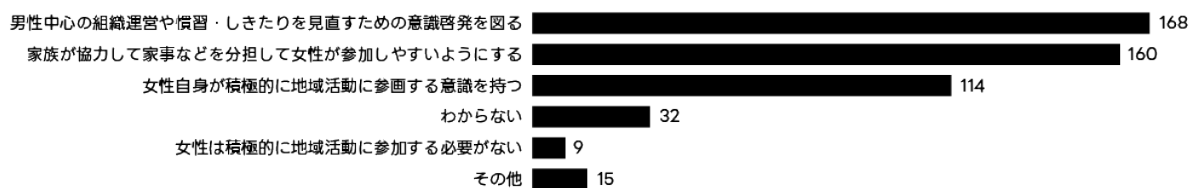
□新しい事(人)を受け入れない地域だから。

□親が参加しているから。

□親の介護と自分の骨折で時間がとれない。体力がない。

- ☐積極的に関わるつながりが無い
- ☐全てに該当しないため
- ☐孫の世話
- ☐単に機会がなかった
- ☐単身赴任のため
- ☐地域活動や社会活動をおこなっているという情報が地域のホームページやチラシなどで掲載していたとしても、そもそもチェックをしないため入ってこない。ただ興味がないだけなのかもしれない。
- ☐特に案内が来ていないから。
- ☐北海道から転居してきたばかりで、わからないから
- ☐面倒くさい
- ☐面倒だから

**問15 現在、自治会など地域団体における長の女性の割合が低い状況にあります。今後、女性の視点を地域に取り入れるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（n=483）**



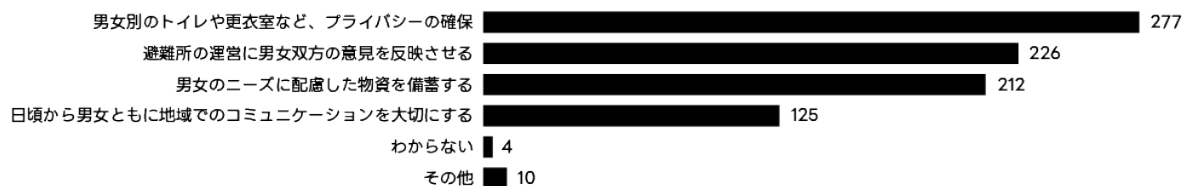
《その他の回答》

- ☐このようなアンケートを不特定多数の女性に送って記入してもらう。
- ☐したい方は既にやられているでしょうし 今後改善する事もないと思います。
- ☐やりたいならやればいい。やりたがらないのに難癖つけるのは違うと思います。
- ☐やりたい人、やれる人が参加すればいいと思う。強制や圧力を掛けられたくない。また自治会が運営している内容で市内に住む全世帯に関係するもので、例えば防犯灯やゴミ出しなどで共通して徴収が必要なものは市民税に組込んで自治会加入出来なくても堂々と生活できる仕組みを作って欲しいです。女性がキャリアアップするためには男性も同様に地域活動などに時間をかけられないです。生活と家族に対応する時間が全てなので。そういう活動をするのは本来、市役所などの行政サービスや活動でやるべきだと思います。
- ☐やりたい人がやれば良い
- ☐現在、自治会役員は男性2割女性8割です
- ☐自分の居る自治会は女性が多いし司会進行も女性がやっている。女性の意見は反映されているから。
- ☐女性の視点を取り入れる事が目的なら、ちゃんと全ての人の意見を取り入れて取り組もうとする組織作りが先ではないか？

- ☐ 世代的に社会経験が少ない女性が多いため、長は不可能。
- ☐ 昔ながらの考えをなくす。女の癖に生意気だ、の発言が多い。
- ☐ 前例をつくる。
- ☐ 男女協同の組織運営はムリかも
- ☐ 働く女性が増えているので時間的余裕がない現状です。地域のことに関わりたくても余裕が無いので時間的余裕ができれば参加したいです。
- ☐ 無意識に女性を軽視する男性の意識改革
- ☐ ケースバイケースで各に違うのでその当事者間で決めれば良い

## ◆防災等における男女共同参画の推進について

**問16 災害時に男女共同参画の視点を取り入れた避難所とするには、どのようなことが必要だと思いますか。（n=854）**

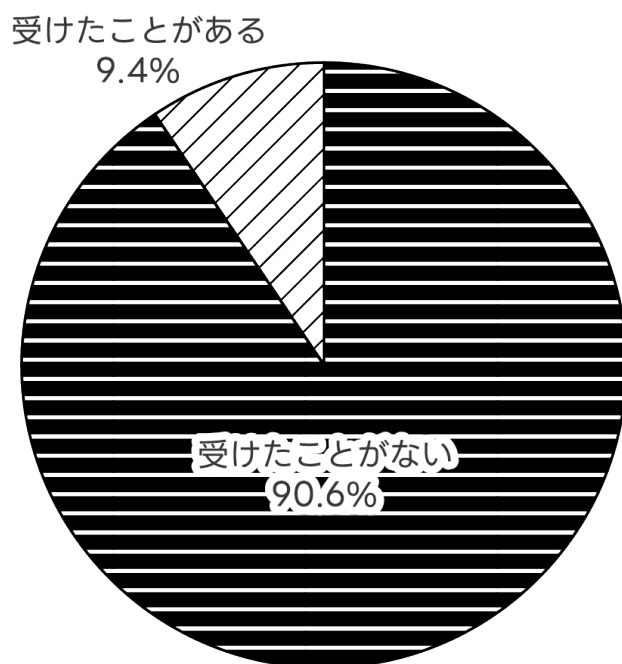


### 《その他の回答》

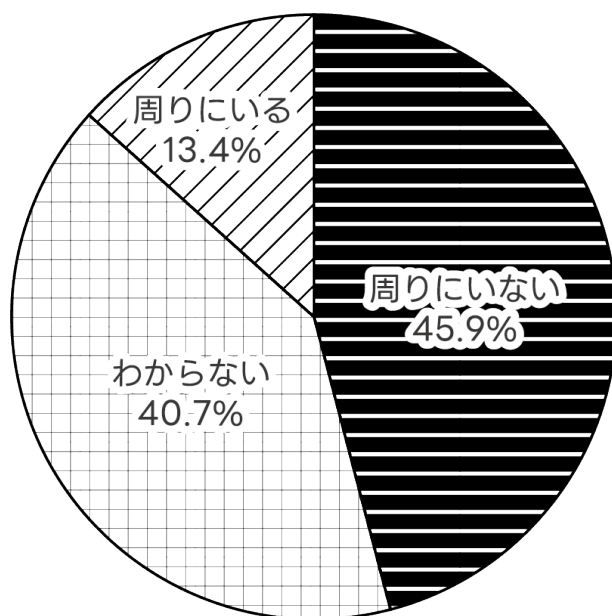
- ☐ その時で状況が違うのでフットワークが軽い方が良いと思う
- ☐ 女性用トイレのスペース増設
- ☐ 寝所が一緒だと、どうしても強姦などのリスクが伴う。地域の宿泊施設を開放するべき
- ☐ 性加害の対策。
- ☐ 性被害の心配なく運営・生活できるようまず男女の居住スペースを区分する
- ☐ 昔からの人々の意見が反映され恐らく避難所には行かない。
- ☐ 男女共同よりもペットを飼っている方達への配慮もお願い致します。ペットだって家族なのですから
- ☐ 知的障害者などは団体行動や気持ちを抑えることができないので別で避難できる場所を設けて頂きたい。実際避難した際密集地では泣きなれない場所では暴れ周りに迷惑をかけ寝るときは子供から目を話せないで親は寝ることすらできない。
- ☐ 避難所の話を聞くに、女性がどうしても弱い立場になりうるから、女性が守られる配慮は必要だと思う。
- ☐ 避難所開設が必要な事態に備えて、避難所もしも基金などを市民税に組み込んで徴収して、自治会に加入しなくても市内住民の全員が避難所に受け入れられる仕組みを絶対に作るべきだと思います。

◆配偶者等からの暴力防止に関する意識について

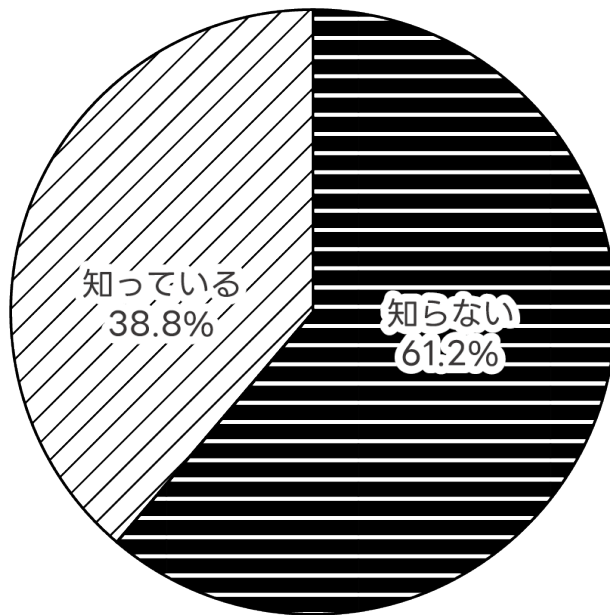
問17 DVを受けたことがありますか。(n=307)



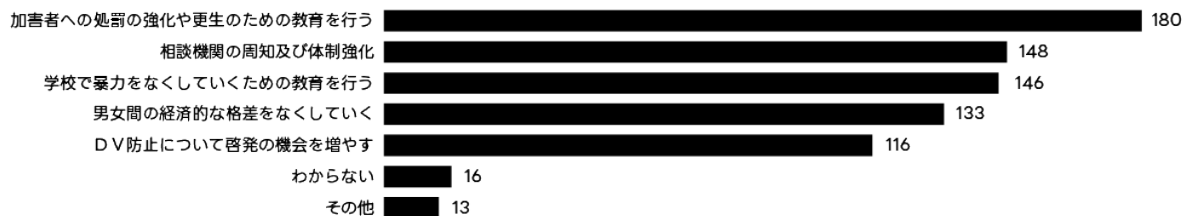
問18 周りにDVを受けた人がいますか。(n=307)



問19 DVの相談窓口を知っていますか。(n=307)



問20 配偶者やパートナーからのDVをなくしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(n=752)



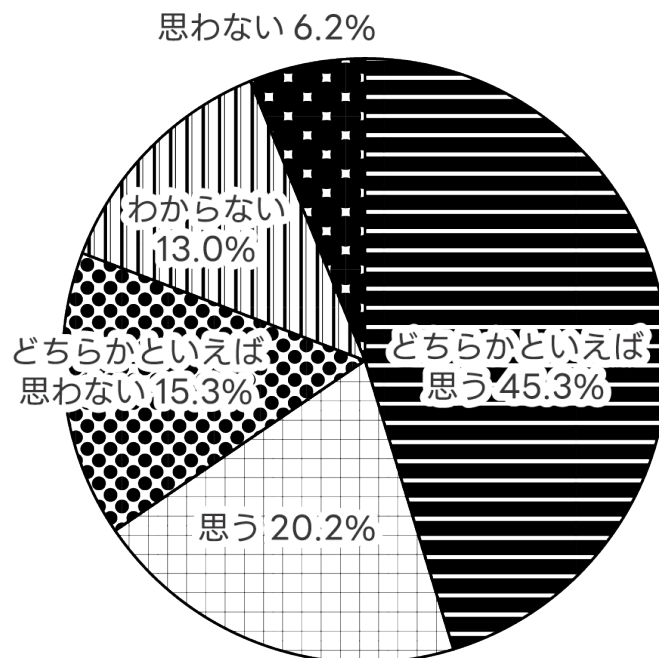
《その他の回答》

- ☐ DNA的で難しい問題であるが、DVを行う人たちは過去に親から日常的にDVを受けた人が多く、治療を受けて潜在的な解決も必要である。
- ☐ DVは傷害事件と呼ぶべき
- ☐ DVを受けていることに気づかない人もいる。具体的な例を動画にして、市のホームページにあげる。
- ☐ しっかり見極める
- ☐ そんなん別れなさい。
- ☐ どこに相談しても結局解決するのは自分自身だと分かっていますので期待は一切していません。
- ☐ なんでやってるか、受け入れているかが分からないので対応できない
- ☐ 加害者がDVをする心理を解決していこうとしなければ、根本解決はできないと思う。
- ☐ 加重情状の決まりを日本にも作る。加害者を退去させるシステムにする。罪を重くする。

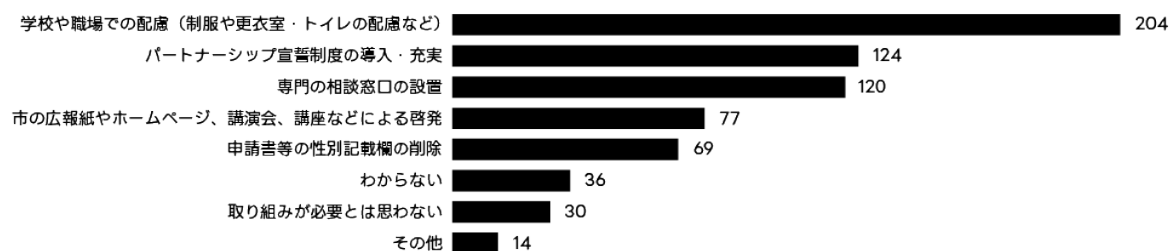
- ☐重罰な刑を課し、更に多額な金を支払わせる
- ☐小さい時から家庭、学校、地域等で人間生活の協同帯を意識教育する。
- ☐人が生きている限り虐めもDVも無くならない。犯罪が世の中から無くならないのと同じ。相談窓口に話しても聞くだけで何も出来ないと言われる。本当に助けてくれる人は世の中にいるのだろうか？だから自殺をする人が減らない。皆人事のようだ。
- ☐離婚

### ◆多様な性に関する意識について

問21 現在、性的指向や性自認に悩む方にとって偏見や差別により生活しづらい社会だと思いますか。（n=307）



問22 性的指向や性自認に悩む方が生活しやすくしていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（n=674）



《その他の回答》

☐ SNS 投稿の取り締まり

☐ なぜ上記のような事が出てくるのか？昔はなかったと思うが？人間全体に起こったら、人類は滅亡するのではないのか？なぜ男性がいるのか、女性がいないのか、各々の役割が有り、別々でも良いのでは？

☐ ニーズを把握し、それにどう応えるか検討する取り組み。

☐ マイナーであることを主張するのはいいが押し付けないうで。多様性を認めると言って他を排斥するなら、それは単なる我儘です。

☐ わざとらしい対策は逆効果だと思いますが。偏見の目を減らしていくしかないのではないのでしょうか？

☐ 学校教育で伝えていく。偏見をなくす。

☐ 記載については生物学的、精神的の両方をつくる

☐ 周りの人々の理解

☐ 小学校からの教育で偏見をなくしていく。

☐ 小学校から性教育をおこない、正しい知識をつけさせていく。

☐ 性別は個体を生殖機能の臓器で判別するものだから、そう言う意味での男女の区別とするか、他に識別に妥当と思われる名称で区分するのがいいと思います。

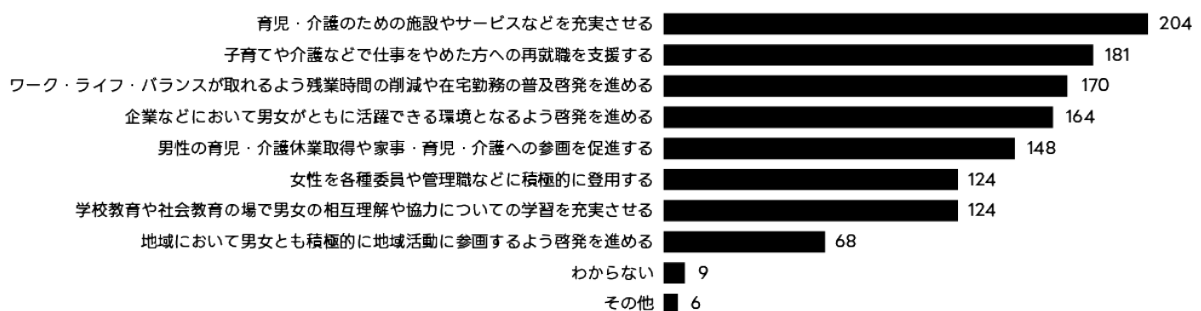
☐ 同性婚を可能にするべき

☐ 悩む方が生活しやすくなると少子化が進むから

☐ 理解する取り組みは必要であるが、個人の問題であり、生物学的にはほとんどがM,F,Xであることを自覚すべきでもある。

◆男女共同参画推進のための取り組みについて

問23 男女共同参画社会を推進していくために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（n=1,198）



《その他の回答》

☐ 市にも国にも何も期待は一切していません。何か変わった事ってありましたか？

☐ 女性の委員や管理職登用などはその人の能力ややる気が必要なので、積極性だけではすまないと思います。

☐ 男女関係無く働きたい人は働いて自治会とか消防団とかは年金もらっている人で回せばいい

いと思う。アンケートしてほしいのは今働いている人と老人の格差。

☐日頃の対応からとてもできそうに思えない。

☐無理矢理女性の管理職をつける必要はないと思う。今は能力がないのに女性が管理職に就いてアピールしている感が凄いので下のものにとっては迷惑

## ◆男女共同参画に関する意見について

### 問24 男女共同参画についてご意見などがあれば、ご記入ください。(n=55)

☐「女性を積極的に参加させる」という言葉だと、無理やり参加させているようなイメージを受ける。自分の考えとしては「性別に関係なく参加できるようにする」ほうが男女平等な社会になると思っている。

☐家族が協力して家事、育児、介護など分担して女性が地域活動や社会活動に参加しやすい環境にする。

☐政治の世界に女性が進出できる社会に！

☐空き家を利用してコミュニケーションができる環境に。

☐ありません。

☐グローバリストの戯言

☐なし

☐やはりゆとりとお金がなければ何も前に進めません。

☐よりよい社会にする為にまず政治家を一般市民と同じ考え方ができる人にする、男女平等にする為には話し合い意見交換するしかない、給料に差をつけず基準を上げる

☐何かを新しく決めることには必ず反対意見が出ますが、まずは女性参画(管理職等)の割合の数字を決めて、それに向かってやらない事には増えていかないと思っています。企業内の自然な流れに任せていては、今後も増えることはなく、女性が働きやすい職場になることは難しいと思います。まずは不自然でも数字で目標を決め、最初は無理矢理でも達成することが大事だと思います。

☐家庭でのDVや負担の大きさ、職場でのハラスメントや軽視など、女性の抱えやすい問題は多種多様であり、「これをすれば良くなる」というものではないが、女性を社会に参画させるにはそういった苦境に立つ女性が自ら声を上げたり、改善させようと動くことが大事であり、それを聞いた男性も女性も自分事のように捉える柔軟さと寛容さが最低限必要であるように思う。DV被害者の厳罰化や未然に防ぐ対策であつたり会社で女性が男性と同じように働かせてもらえないことも、「自分だったらどうか」考え公に行動すべきだと思う。また、行政でも民間企業（営利団体でない）、いわゆるボランティアやNPO、地域の団体の力もフル活用していかないと改善はできない。まだそういった組織に属していない人材を発掘することも急務だと思う。

☐各家庭、各企業ごとに様々な事情や状況などがあると思うので、すべてが平等、公平になるのは難しいのですが、それでも20年前から考えれば少しずつだが良い方向に向いているとは思っています。市に望むのは、育児や介護などの福祉関係のサービスを充実させることで市民の負担を軽減し、女性、(男性)が社会に共同参画できるよう援助してほしい。

☐現在は男女平等といいながら、会社や家庭など社会全体が男性中心となっていると感じま

す。子供の頃から名簿や各種順番など男子から始まる事が多いと感じています。子供時代から慣れて当たり前になってしまう事もあるのではないかと思います。小学校や中学校そして高校でも継続した教育が大切だと考えます。それが男女平等や男女共同参画につながるものと考えます。

□現在まだまだ女性が家事をやり仕事もしている家庭が多い状態だと思います。実際、私も正社員で主人より遅くまで働き帰るとすぐに夕食の支度をしています。何度か話し合いましたが、なかなか平等に家事をやるのが困難です。主人は大きな事故により足を引きずり痛いため、正社員雇用が難しく私がフルで働くしかない状態が続いています。障害者年金、手帳はいただけませんでした。はっきり言ってかなり体力的にもキツイです。同じような立場の女性もいると思います。改善策があるといいのですが。女性の管理者がいる職場ですが、女性特有の更年期や感情起伏の激しい方が多く職員みな振り回されています。このような状況ならまともであれば、男性管理者だけでもいいように思っています。男女混合で管理ならまた違うのでしょうか。どちらか一方だと偏りが出てしまうのも懸念されます。

□個人と社会の両方が男女の区別なく、いろいろなことが遂行していけるような思考及び行動をとっていくことが必要ではないかと思う

□個人の能力を判断する時に、性別で選ばれないということが無くなっていけば良いと思います。また、育児や家事は女性のやる事（男性は参加しない）という意識ももっと変わっていけば良いと思います。

□行政、民間だけでなく、男性と女性の意識改革、既得権益の見直し等の複雑な関係を見直す必要があると思います。

□講演会等の開催

□高校生からの目線での一意見になりますが、例えば男女平等を謳っているのにも関わらず政策内容が女性を優遇するような方向に進んでいる行政があるような気がします。たしかに男尊女卑の時代を抜け出すために女性の地位を高める動きは大切だと思うのですが、行き過ぎた女性優遇は過剰な優遇意識を招く恐れがあるように思います。少し行政の話とは離れますが、例えば昨今話題になる痴漢冤罪や性加害問題の虚偽などです。女性＝弱い立場という世間の慣習が悪質な方向へ進んでいるという実態があります。そこで私は、何かを謳うことよりも行動を具体的に行う必要があると思います。また性差問題についてもですが「LGBTについて配慮しましょう」ということによりその人たちがまるで特別な人間であるかのように思わせる逆説的な問題が起こっています。ポスターや宣伝などにより啓発することは知らせるという点で優れたものですが悪影響も起こし得るということを念頭に置いて慎重に審議するべきだと思います。具体的な改善策を提示できる訳では無いので生意気な意見にはなりますが事実であると思いますのでご検討をお願いしたいとおもいます。

□今まで女性が少なかった理由をクリアすれば女性が増えるのか？少なかった理由を考えた方が良いと思います

□今回のアンケート調査は、年齢、性別にとらわれずに平等かつ進展に繋がることを願い記入致しました。

□仕事によっては無理です

□仕事はできる人がやるべき。『女性を管理職に〇人とか、〇%いなければいけない』なんてナンセンス。できる人なら全員女性でもいいし、全員男性でも良し。自治会はそれ自体、年寄り以外誰もやりたくない。男性は妻に行かされてるだけ。

- 子育てに対する援助体制が不十分だと感じます。女性が気持ちよく働き、男性も気兼ねなく家庭を手伝えるように促すためには、家庭への支援が必要不可欠なのではないかと思います。
- 子育てをしていく中で、検診やこどもの体調不良で休まなければならないのは、いつも母親ばかりだと感じる。男性が会社を休む、という理解が社会の中で得られにくい。昔からの固定観念が根強いからだと思う。もっと男性が子育てに参加しやすい社会作り（会社の組織作り）をしてほしい。
- 私の周りでの男女はほぼ平等です。強いて言うなら女性より男性の方が力がある、身長が高い…くらいです。
- 私はこれまでに自身の意識や行動を認めてもらい活躍できる場を与えてもらいました。職場内では管理職も経験して来ました。現在は、女性ならではの視点や感性で社内やグループ内を活性化して欲しいとのことで、女性チームのリーダーを任せてもらっています。様々な年代の女性がいたので、その時々での状況を理解して、今は積極的に参加出来なくても、いつかはという考えを尊重し、女性同士が認めあいながら活動しています。女性の特性を活かすことで生まれる環境や商品などもあると思います。まずは女性自身が意識を変えて行く事が大事だと思います。
- 私は社会を男女平等にするまえに議会などを半々にすべき。
- 女性、男性、年齢にとらわれずに優秀な人材を登用すればよい。
- 女性が社会に出て、管理職についても、実績が無く、人数合わせで決めるのでは無く、もっと実績や人間性を見て適材適所登用して欲しい。未だ男性優位な社会から抜けられないのは、女性の登用する側が男性目線で選ばれているからだだと思います。沢山の才能やキャリアを持った女性が社会に埋もれてしまっていると思います。男女問わず、人を育てたり見出したり出来る機関がちゃんと機能して欲しいと思います。
- 女性だからと言って、地域の当番（役職）を断ったり、地域活動（例えば環境保全活動など）に参加しない方が散見される
- 女性の家庭の負担をできるだけ減らす。
- 女性を積極的に登用するのではなく、能力のある人を登用するようにしないと、不満が募る。
- 人がもともと平等であるという基本的人権が保たれていかねばならないと思います。
- 世界経済フォーラムが2022年に発表した男女格差を測るジェンダーギャップ指数によると日本は146ヶ国中116位と先進国では最低レベル、アジアでも韓国、中国、ASEAN諸国よりも低い順位とのこと。その日本の中でさらに千葉県は最低レベルの状態のようです。結論から申し上げますと啓発、教育等に取り組まれるのも結構ですが、まずは地方政治、地方公務員、教育現場において女性管理職比率30%に首長が先頭に立ち期限を決めて真剣に取り組む気概を示すことが大事かと思います。
- 性によって不平等な差別があるのは非常におかしいと思う。地域活動等も年齢層が高い地域だと全て男性中心。女性は買い物やお茶出し等・・・旧態然として非常に不愉快。もっとフラットに物が言えるようになって欲しい。
- 昔ながらの考えが多くとても平等とは思えない。若い人達は地域になじめず離れて行く人が多い。困っている人が居ても見て見ぬふりばかり、皆自分だけ良ければいいと思っている町内。こんな自治会を無くして欲しい。自治会の必要性がない。皆の区費を区長は自由に使っている。こんな事あってはいけないのに。会議で意見も通らない。夫婦で総会に出

るな、とか区長の意見に反する人を排除しようとする、家に怒鳴りこんで来たり、市役所に相談しても、町内でどうにかして下さいとか。区民の話を聞こうともしない。区長をこれ以上どうすればいいのか。区長のパワハラで区民は迷惑している。私達はこれ以上誰に相談すればいいのか。市から区長へお金が渡されています、御礼としてとかガソリン代とか必要ですか？あくまで無償ボランティアとしてやって貰うべき。お金を貰えるからいつまでも辞めない。辞めさせる権利が市にあって欲しい。男女平等なんて口先だけであるわけではない。

□多様な性に関する意識については、まだネガティブな意識です。

□多様化が進む昨今、男女共同参画の推進は今後も重要と考えています。

□男はある程度環境悪くてもなんとかなると思うが、女性は色々大変なところがあるので施設とかは優先的に作ってほしい。

□男女で出世や昇給に差がある会社もまだあると聞くので、男女格差是正の施策の見直しが必要と思う

□男女などという区別をしている時点で進まない。全てにおいて多様性を認めれば良い。

□男女の身体的な違いや精神的な違いはあるので、役割分担する部分も必要だと思いますが、女性だから男性だからという風潮をなくしていくようにしたいです。

□男女を平等にしようとして、女性が優遇されている印象を受けています。なおさら、女性としては生きづらいように思います。男女差別はなくすべきですが、男女の区別はあって然るべき。最近は性を気にしすぎているように感じます。男女の違いを受け入れ、思いやりのある社会になれば、自然と互いの生きづらさはなくなるように思います。大切なのは、男女の違いへの理解。

□男女共同参画についての取り組みは、社会として積極的に取り組んではいるが、実際に男女が対等な扱いがされているかは実感としてはあまりないです。中小企業などは、管理職は男性が多いし、女性が管理職に昇格される機会はほぼ無いように思います。家庭でのサポートも無ければ管理職など仕事に時間を割くことについて消極的にならざるを得なくなります。また今まで重要な役職を任されていない女性も管理職という重い役職に挑戦することに不安も多いと思います。管理職や部下などという立場では無く、担当責任者制にすれば挑戦のハードルも下がり女性も積極的に仕事に挑戦していけると思います。また、性についての観点でみると『男女共同参画』という名称についても現在では合わないのかなと感じています。男性、女性で区別するのではなく、性にとらわれない一個人として見るようになっているので、『共同』や『平等』などを名称に取れ入れたほうが適しているように思います。

□男女平等という考え方は素晴らしいものであるし、出産・育児に関しての支援の取り組みはもっと必要だと感じる。しかし近年の風潮はどうも平等というよりも女性の都合の良い世の中を作りたいだけのように感じる。

□男女平等なかなか難しいと思います。特に、仕事における給料の面、働く時間の問題。女の人は子育てをしながら働くのは正社員だと特に大変だと思います。せいぜいパートで数時間しか働くことができません。働きたくとも時間と給料の面でオーバーしたりと調整して働くことがとても難しいと思います。そういうことが解決できたらもっと男女平等になるかもしれません。

□男性の育児休暇の充実を中小企業でも早急に充実させていただきたい。

□男性の権利も守ってください。例えば、親権の問題、男女での刑罰の軽重の違い。

□特になし

□特になし

□特に思いつきません。

□年代に合わせ、理解促進の働きかけをしていくことが望まれると思う。

□平等は不可能に近いのでそれに近い形を模索していくしかないと思います。

□木更津市が「住みやすいまちづくり」を計画し実践されることを期待しています。公園や道路や河川(県管轄)はタバコやゴミのポイ捨て等が多く、環境が汚染されています。また、農協(農業)や経済の活性化も貧弱で、汚くて住みにくい「まち」です。「意識の低下・環境保全低下・治安悪化」の住みにくいという悪のスパイラルの原因をよく考えます。聞こえてくる声は「こんなものだと思っていた」です。市政治・市民意識・教育の低迷があるのかもしれませんが。しかし最近、公園の整備や個人の住居の周りの清掃等、少しずつ改善されて、子供達が元気に遊ぶ声も聞こえてきます。男女共同参画社会基本法が制定されて、20年以上も経過しています。広く意見を聞き、男女共同参画の活動を実行することにより、「自然を活かした住みやすい木更津市」になると思われます。時間と共に時代や政治が動いていることを肝に命じて実践されることを希望します。環境は人をつくり人が環境をつくるのです。

